

所沢市立教育センター「所報」

いっしょだ

授業が変わり、学校を変えて、子どもを伸ばそう

所沢市の教育の理念
みんなが持っている三つの“宝”を
掘り起こして大きく育てます
心身のたくましさ
未来を拓く知恵
ふるさと所沢を愛する心



謹 賀 新 年



新 年 の 挨 拶

所沢市教育委員会 教育長 内藤隆行



平和について考える



あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年は、近隣国の弾道ミサイル発射や国際テロなどの脅威によって、日常生活に不安を感じるとともに、平和であることの大切さを実感する1年間でした。

そこで今一度、日本国憲法の前文を読み返し、平和について改めて考えたいと思います。

「日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めている国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思う。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。」（一部抜粋）

さらに、ユネスコ憲章の前文は「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。」という一節から始まります。そして、戦争のない平和な世界のために、教育、科学、文化、コミュニケーションの各分野での国際協力を理念として示しています。

しかし、世界には、環境・貧困・人権・平和・開発といった様々な地球規模の課題があります。これらの課題を自らの問題として捉え、一人一人が自分にできることを実践することが大切です。そして、この課題解決につながる価値観や行動を生み出し、持続可能な社会を創造していかなければなりません。

このような持続可能な社会の担い手を育む教育が、ESD教育（Education for Sustainable Development）です。

そして、市民一人一人の社会的な自立や幸せのためには、世界的な平和は不可欠です。未来を担う子どもたちには、多様な他者の思いや考えに耳を傾け、自分の意見をしっかりと持ち、多様性（違いを大切に）や相互性（ものも人もつながっている）、公平性（誰も犠牲にしない）等の深い学びが求められています。これを支援することは、教育に携わる者の責務であると考えます。

本年も所沢の子どもたちの幸せのために、より充実した教育環境づくりを目指してまいります。



10～11月の研修会から

10～11月にかけて、教育センターを会場として教務主任研修会や心のふれあい相談員研修会、市内小・中学校を会場としてESD研修会やICT活用研修会など、様々な研修会を開催しました。

その中から、**教育センターと所沢市教育研究会の共催研修会**について紹介します。



<言語活動の充実を図るための国語科授業研修会>



10月25日(水)、美原中学校にて、理由や根拠をもとに論旨を捉え、人間の本質について他者と交流を図る授業を北村規子先生に公開していただきました。その後、東京医療保健大学の豊田英敏教授に御指導いただきました。

《参加者感想》

・普段見ることのない中学校の授業を見ることができて、刺激を受けました。(小学校教諭)

<思考力・判断力・表現力の向上を目指した社会科授業研修会>

11月7日(火)、柳瀬小学校の宮崎大輝先生にICTや話し合い活動を取り入れた授業を公開していただきました。その後、研究協議が行われ、女子栄養大学短期大学部の松尾鉄城教授に御指導いただきました。



《参加者感想》

・松尾先生の話から能動的に動き資料を集めることが大切だとあり、教師が足を運んでみるのが重要だと思いました。(小学校教諭)

<数学的な思考力・表現力を育成するための授業研修会>

11月24日(金)、所沢小学校の飛澤良太先生に4年生の「わり算の筆算を考えよう」の単元を公開していただきました。その後、グループ協議を行い、埼玉大学の二宮裕之教授に御指導いただきました。



《参加者感想》

・研究協議では、自分だけでは気が付かない視点で授業を見ている先生方と意見交換できたり、改善点を明らかにすることができたりしたので、よい経験になりました。(小学校教諭)

市内県立高校の紹介コーナーの設置

県立芸術総合高校の取り計らいで、市内県立高校の学校案内を設置しました。教育センターに来所される先生方、保護者の方に御覧いただければと思います。(ミヤコタナゴの隣にあります。)



新学習指導要領実施に向けて

いよいよ今年の4月から小学校において「特別の教科 道徳」がスタートします

「特別の教科 道徳(道徳科)」の全面実施が、小学校は平成30年度から、中学校は平成31年度からとなっており、いよいよ今年の4月からスタートします。今年度、教育センターでは3つの研修会を企画・開催しました。教科となることで何が変わるのか、道徳科の特質を踏まえた授業とはどのようなものか、評価はどうしたらよいか、学校組織全体で取り組むべきことは何か等について先生方に学んでいただき、自信をもって教科化を迎えられるよう支援しました。

10/11 道徳教育推進のための研修会



北野小学校の鈴木泉衣教諭の指導を基に、学校教育全体を通じて計画的に道徳教育が行われるような諸計画作りや、校内研修の在り方を学び合いました。

11/22 道徳の時間授業づくり研修会



椿峰小学校において、全学年の授業公開と聖徳大学大学院吉本恒幸教授の講演から、道徳科の特質を踏まえた授業づくりを学びました。

11/30 道徳の時間の教科化に向けた研修会



文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官の浅見哲也先生の講演から、道徳の時間の教科化の主旨や今後の実践上の課題等多岐にわたり具体的に学びました。

今年度は、ESD研修会(於:美原中)でも道徳の研究授業をもとに協議しました。また、1月25日、中央小で開催する「自己肯定感を高める授業・学級づくり研修会」でも自己肯定感を高める活動を核とする道徳の授業を全学級で公開しますので、是非、御参加ください。